

V12b ALMA コミッショニング：観測モード

小麦真也（JAO/国立天文台）、他 JAO CSV チーム、ARC CSV サポートチーム

いよいよ、2011年3月末には最初のALMA初期科学運用(ES)の観測提案募集が行われる。ALMAはESの時点で世界最高感度の電波干渉計であり、様々な観測モードが予定されている。ALMAコミッショニング活動の中でもObsmodeチームでは、本格運用も視野にいれてこれらの観測モードがシステム全体を通して機能し、科学解析に耐えうるデータをユーザーに提供できる事を確認する事を旨として活動している。

Obsmodeチームでは実際に様々な電波強度や構造を持った輝線/連続波天体を、初期運用時にユーザーが使用する事になっているOTやCASAを用いて各バンド(3、6、7、9)や相関器セットアップにおいて上記のデータ取得/解析を行っている。本ポスターでは、ALMAの望遠鏡としてのシステムがCfP時点でどの程度のデータを提供できるか、エンドユーザー観点から概観する。